

2023年度の入試分析 (東海編・私立大学)

リクルート進学総研
飯島隆介

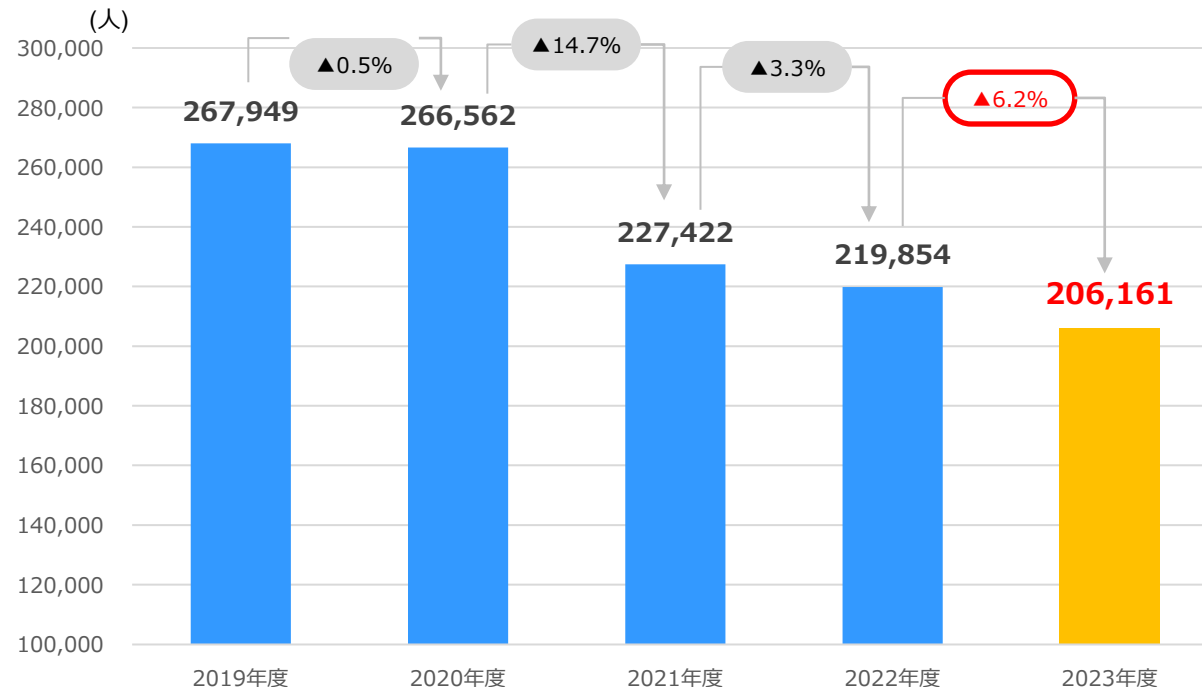


0. はじめに
1. 今年の結果速報－私立 - 全体
2. 今年の結果詳細－分野系統別
3. 今年の結果詳細－個別校状況
4. 今年の結果詳細－大学群別
5. まとめ

- ✓ 集計対象は東海4県の私立27大学
- ✓ 一般入試・共通テスト利用入試の志願状況について、
大学HPで公開された情報（前期・A日程）を基に、
リクルート独自の観点で分析し、
(2023年2月20日時点 ※イブニング・二部等の志願者数は除く)
東海圏募集市場の概観をまとめています
- ✓ なお、確定前のデータを一部含むため、
最終結果と異なる場合があることをあらかじめご了承下さい

1. 今年の結果速報（私立－全体）

- 18歳人口は全国で23,869人(▲2.1%)の減少で約109.7万人、東海圏では2,201人(▲1.6%)の減少で約13.8万人となるなか、総志願者（延べ・一般入試と共通テスト利用入試の合計）は **▲13,693人(▲6.2%)** の**206,161人**
→人口減少と比較しても志願者数減少の減り幅が大きい結果に
- 入試方式別では、一般入試が▲10,974人(▲8.1%)、共通テスト利用入試が▲472人(▲1.1%)、併用入試（一般+共通テスト）は▲2,247人(▲5.2%)となり、全て減少



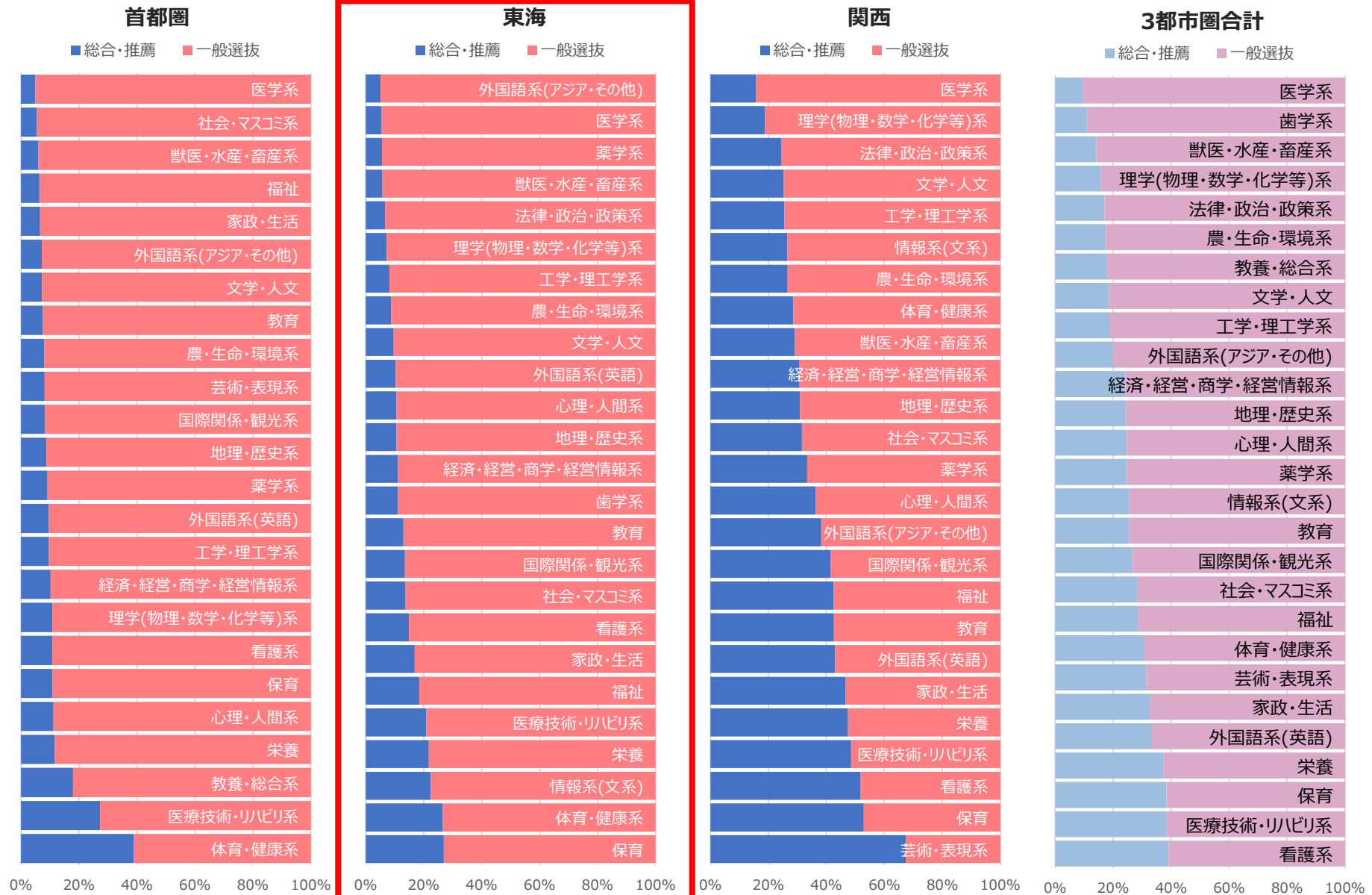
2. 今年の結果詳細 – 分野系統別

合計	2021年度	2022年度	2023年度	差分	対前年伸び率 (%)
法律・政治・政策系	22,442	23,422	22,799	▲ 623	▲ 2.7
経済・経営・商学・経営情報系	36,172	34,714	35,475	+ 761	+ 2.2
社会・マスコミ系	3,305	2,788	3,061	+ 273	+ 9.8
情報系(文系)	3,653	3,194	2,893	▲ 301	▲ 9.4
国際関係・観光系	10,708	9,742	9,231	▲ 511	▲ 5.2
外国語系(英語)	14,759	12,674	11,677	▲ 997	▲ 7.9
外国語系(アジア・その他)	4,645	4,303	3,904	▲ 399	▲ 9.3
文学・人文	7,190	7,568	6,249	▲ 1,319	▲ 17.4
地理・歴史系	4,021	3,679	2,970	▲ 709	▲ 19.3
心理・人間系	12,105	12,468	11,944	▲ 524	▲ 4.2
工学・理工学系	44,674	44,829	40,229	▲ 4,600	▲ 10.3
理学(物理・数学・化学等)系	5,738	6,725	5,674	▲ 1,051	▲ 15.6
農・生命・環境系	7,990	6,966	7,382	+ 416	+ 6.0
獣医・水産・畜産系	757	612	603	▲ 9	▲ 1.5
医学系	5,345	4,889	4,650	▲ 239	▲ 4.9
歯学系	311	287	305	+ 18	+ 6.3
薬学系	4,053	4,534	4,139	▲ 395	▲ 8.7
看護系	7,032	7,044	7,332	+ 288	+ 4.1
医療技術・リハビリ系	6,511	6,333	5,441	▲ 892	▲ 14.1
教育	7,725	7,859	6,941	▲ 918	▲ 11.7
保育	2,562	1,737	1,548	▲ 189	▲ 10.9
福祉	1,301	1,142	929	▲ 213	▲ 18.7
家政・生活	882	876	766	▲ 110	▲ 12.6
栄養	4,436	4,017	3,421	▲ 596	▲ 14.8
芸術・表現系	466	509	435	▲ 74	▲ 14.5
体育・健康系	8,639	6,943	6,163	▲ 780	▲ 11.2
教養・総合系	-	-	-	-	-
合計	227,422	219,854	206,161	▲ 13,693	▲ 6.2

● **青網**：3年連続増加
看護系

● **赤網**：3年連続減少
情報系(文系)
国際関係・観光系
外国語系(英語)
外国語系(アジア・その他)
地理・歴史系
獣医・水産・畜産系
医学系
医療技術・リハビリ系
福祉
家政・生活
栄養
体育・健康系

● 系統とエリアによって、年内化の進み方には差が生じている



3. 今年の結果詳細 – 個別校状況

● 集計対象27大学の志願者増減の状況は、

志願者**増加** 4校 (うち20~30%増 1校)

志願者**減少** 23校 (うち10~20%減 7校、20~30%減 5校、30%~減 1校)

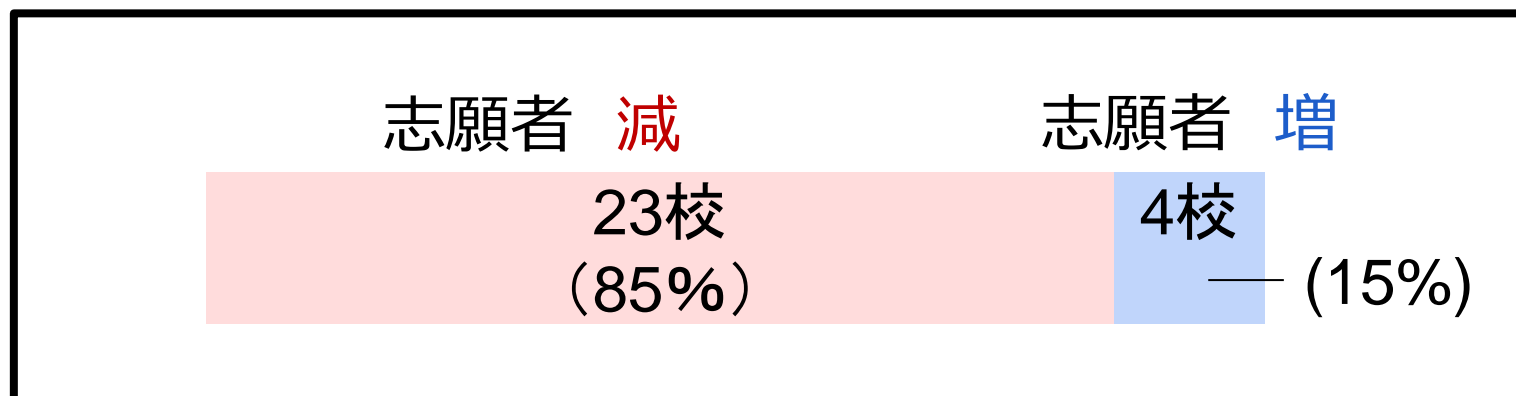
→85%の大学は減少。増加校もほとんどが増加率10%未満

国公立志向が高まっていること、年内化が進んでいることに加えて、

志願者数上位5校で全体の6割獲得と寡占化が進んでおり、

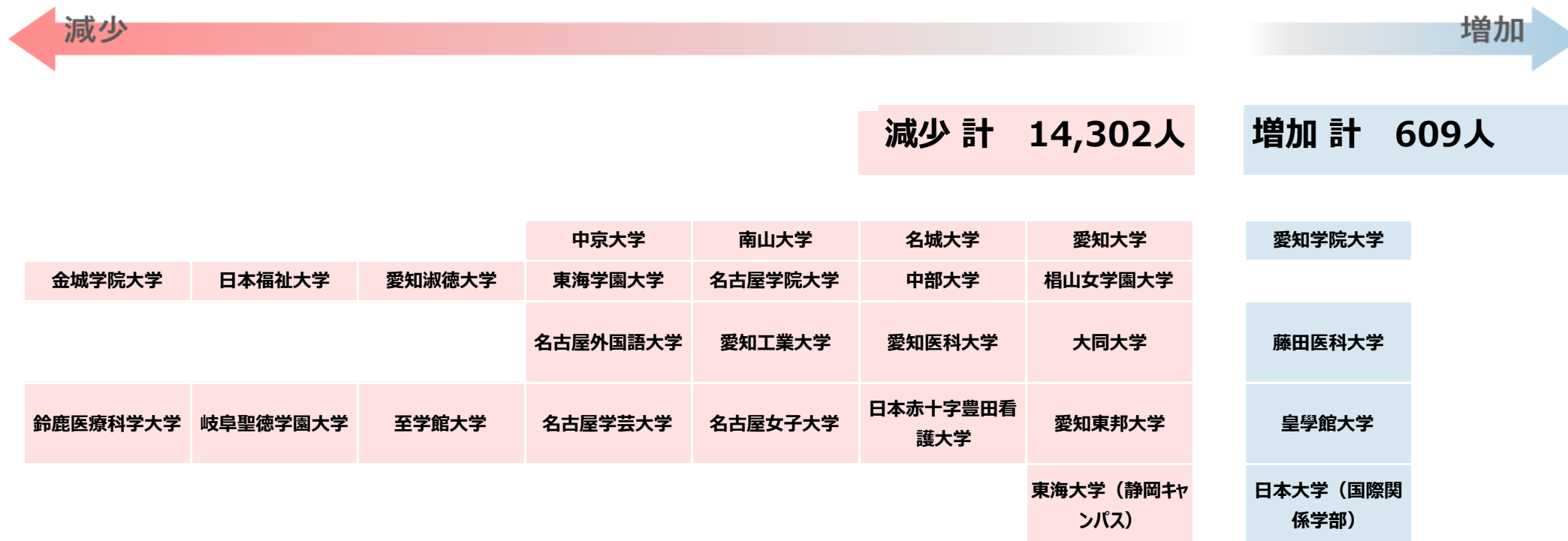
中堅以下の大学で増やすのが難しくなっていることや、

コロナ禍の影響が弱まり首都圏や関西圏への流出が増えたこと等も想像される



4. 今年の結果詳細 – 大学群別

● セグメントによらず、減少が圧倒的に多い



5.まとめ

- 東海圏では18歳人口が2,201人(▲1.6%)の減少で約13.8万人となるなか
総志願者は ▲13,693人(▲6.2%) の206,161人と、
人口減少と比較しても志願者数減少の減り幅が大きい結果に
- 入試方式別では全種別で減少
- 系統別には3年連続増加は看護系のみ
国際系、医療系、教育福祉系、家政系等で3年連続減少
昨年比ではほとんどの系統で減少した
- 対象校の約85%が昨年比で減少
- 年内入試へのシフトが進むなか、年明けの入試でどれだけ母集団が
残っているかは系統等によっても状況が異なる



高校・大学の取り組み事例等はHPに掲載しています。
「リクルート進学総研」

リクルート進学総研

